



●取り込みはハリスをたぐって抜き上げる



●初心者もお土産たっぷり



▲一荷もしばしば



●釣り方は仲乗りの福井さんがていねいに教えてくれる

今回の釣り仲間

●取材でお邪魔させていただいたのは、東京都羽村市の山崎佳奈子さんが代表を務めるタナドリ会の皆さん。釣り物はライトアジです。



●仲間や家族と沖釣りホリデー! Charter boat fishing with friends and family

貸し切り船 ナビ

●撮影・文 / 古河好夫



▲コマセはイワシミンチを使用



▲付けエサはアオインメ。オモリ40号のアンズとペンピンは船で借りられる

**一番人気はライトアジ
初夏はカサゴや
マゴチもおすすめ**
久保弘丸の久保寺弘船長が舵を握るようになったのは高校を卒業してすぐのこと。仕立船を始めたのは船長のお父さんの代からで、その歴史は50年以上に

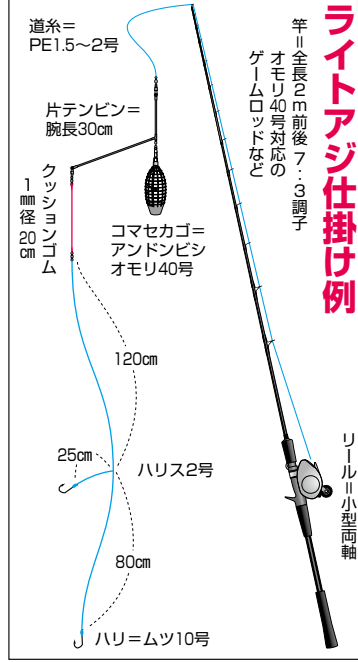
なる。
4月中旬以降のおすすめをたずねると、まずは同船の看板メニューでもあるライトアジ。釣り場は金沢八景や富岡沖の水深30メートル前後で水温の上昇とともに釣果ががぜん上向く。
20〜25センチ級主体に楽しめ、潮が濁り出すと水深15〜20メートルの浅場で25〜30センチ級の良型が上がるようになる。40センチ級のマサバやイシモチなども交じってクーラーの中にはぎやかにするそう。
またアジに関しては観音崎沖や第三海堡跡周辺の水深40〜80メートルを探るピシアジも受け付けている。こちらは型狙いで30〜40センチ級の良型がそろろう。
この時期はカサゴも面白く、横須賀沖や富岡沖の水深20メートル前後を狙う。カサゴのサイズは20〜25センチ級が主体。釣り方が簡単なのでビギナーや子供連れの釣行にもおすすめだ。
金沢八景沖や中ノ瀬のシロギスも上向くところで水深15メートル前後を探る。20センチ級の数

初ライトアジでした! by 加藤明子さん

東京都世田谷区の加藤明さんはライトアジ初体験とのこと。当日の感想をうかがってみました。
「今までは船酔いが怖くて敬遠していたのですが、どうしてもアジを釣ってみたいだったので酔い止めを飲んで参加しました。幹事の山崎さんと仲乗りの福井さんが釣り方をていねいに教えてくれたおかげで、うれしいことに20尾以上のアジを釣ることができました。心配していた船酔いもなく本当に楽しかったです。エサのインメはまだちょっと苦手ですが、すっかりアジ釣りにハマっちゃいました。次回もぜひ参加したいです」
中盤には、投入から取り込みまで自分でできるようになった加藤さん。今後はさまざまな釣りにチャレンジしてみたいです!



釣りが楽しい、中ノ瀬では25センチ前後の良型も顔を見せるそう。
カサゴとシロギスはライトアジとのリレーも可能なので、欲張り派は予約時に船長に相談してみるといいだろう。
そのほかこの時期はマゴチも人気を集める。釣り場は金沢八景沖の水深15〜20メートルで、40〜50センチ級主体に60センチオーバーが上がることも珍しく



ライトアジ仕掛け例

ない。またゲストで1〜2キロ級のヒラメが交じることもあるとのこと。
もはや周年の釣り物となったタチウオも受け付けていて、主に走水〜観音崎沖を狙う。釣り方はエサはもちろんルアーやテナヤもOK。タチウオのサイズは指幅4〜6本クラスの良型が多く、初夏の盛り上がりを期待したいところだ。
久保寺船長は優しい人柄で実



▲当日の釣り場は金沢八景沖の水深30メートル前後



TARGET ライトアジ

久保寺弘船長に聞きました! ライトアジのコツ

「アジのタナは底から2〜3メートルです。タナを取ったら、仕掛けが潮にじむのを待ってコマセを振り出してください。それで3分ほど待ってアタリが出ないようなら、タナを取り直して再度コマセを振り出します。このコマセワークを1回の投入につき3回行ったら仕掛けを回収してコマセを入れ直してください。
竿先にアタリが出たら、少し待って追い食いを狙ってみてください。うまくいけばアジを一荷で釣り上げられます。取り込むときは、腕を伸ばしてアジに近い部分のハリスをつかんで抜き上げるとバラシが少なくなりますよ。もし大型のアジやサバが掛かったときは声をかけてください。仲乗りの福井がタモ取りします」



【第22回】 東京湾奥金沢漁港

久保弘丸

東京湾奥金沢漁港の久保弘丸は、看板のライトアジを始めカサゴやマゴチなど東京湾の人気ターゲットを心ゆくまで楽しませてくれる船宿。常時仲乗りが同船して釣り人をサポートしてくれるので、子供やビギナーが多い釣行にもおすすめだ。

東京湾奥金沢漁港

久保弘丸

KUBOHIMARU
Kanazawa fishing port, Tokyo bay
☎045-781-8757 (詳細は巻末の情報欄参照)

料金プラン

●平日は7名、土日祝日は10名より受付。1人あたりの料金は8500円～。1人増すごとに8000円～(釣り物によって料金の変動あり)。
平日7名以上、土日祝日10名以上で出船の場合は、1人増しごとの小中学生は半額。女性は2割引きとなる。また土日祝日に10名以上で利用の場合は、ホームページにある乗船名簿をプリントアウトし、あらかじめ記入して提出すると総額から5000円の割引となる。人数に満たない場合は応相談。船長と相談のうりレー釣りも可能。船宿にて精算。



利用ガイド

- 【予約方法】**
ホームページに「予約カレンダー」があるので、それを参考に電話で人数、希望の釣り物などを伝えて日程を確保
- 【出船時間】**
基本は7時20分。釣り時間は出船から沖揚げりまで最大7時間
- 【エサ、氷、仕掛けなど】**
エサ、氷、仕掛け付き(特別な仕掛けは除く)
- 【レンタルタックル】**
手巻きリールのセットは無料。電動リールのセットは1000円
- 【集合場所】**
乗船場に集合。車は隣接する駐車場に停める(駐車料金は1台につき300円)



| 釣り物 | シーズン(月) | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
|------|---------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|
| アジ | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 |
| カサゴ | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 |
| シロギス | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 |
| イシモチ | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 |
| メバル | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 |
| タチウオ | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 |
| マダイ | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 |
| マゴチ | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 |
| カワハギ | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 |
| スミイカ | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 | 魚 |



久保弘丸のココが好き!
幹事の山崎佳奈子さんに聞きました!
優しい船長と仲乗りさんがよく面倒をみてくれるので、ビギナーや女性を連れてきやすい船宿です!

「久保弘丸が私が代表を務めるタナドリ会で、月イチのペースで利用させてもらってます。優しい船長と仲乗りの福井さんが本当によく面倒をみてくれるのでビギナーや女性を連れて行きやすいです。釣りをしながら友達とおしゃべりしたり、お菓子を食べてたりと私たちのペースで釣りを楽しめるのがいいですね。心からリフレッシュできます。アジのほかにもマゴチやスマイカなどにも挑戦していて、今年も久保弘丸で色々な釣りを楽しませてもらうと思っています」
当日は11名で乗船し、1人あたりの料金は9000円。ご協力ありがとうございました。



に親切。仲乗りの福井正臣さんも面倒見がよく、ビギナーが多い釣行にはありがたいかぎり。料金にエサ、氷のほか仕掛けが含まれている点も幹事にとってはうれしいところだ。ぜひ家族や仲間を誘ってお出かけたきたい。
久保弘丸を訪れたのは3月20日のこと。東京都羽村市の山崎佳奈子さんが代表を務めるタナドリ会の皆さんがライトアジで仕立てた船にお邪魔させていた

だいた。
7時20分に出船。久保寺船長に近況をたずねると、釣り場は港からすぐの金沢八景沖30メートル前後。15センチ前後の小アジが多いものの、ときおり20〜25センチ級の中型も交えて数は十分に上がっているとのこと。15分ほど走った所で開始となり、コマセが効き始めるとポツポツとアタリが出て15センチ級のアジが取り込まれる。
その後はアジの活性が上がったようで、各所で投入のたびにアタリが出るように。手慣れた人は次つぎにアジを

釣り上げ、この日初めてライトアジに挑戦した加藤明子さんも初アジをゲットしてニッコリ。仲乗りの福井さんに小アジの食味を聞いてみると、甘みが強くほんのりと脂が乗っていて刺身が最高とのこと。
中盤に入ると20〜25センチ級の中アジも交じり、船上はなんとも楽しい雰囲気。いい人はこの時点で30尾以上の釣果を上げています。
「ライトアジはちょっとしたコツさえつかんでしまえば女性や子供も十分に楽しめるので最高です!」と山崎さん。
当日は女性の参加が多く、確かに皆さんともいい笑顔をしている。
後半戦もアジの食いは順調。ほとんどの人が30尾以上釣っていて、50尾以上の人も。イシモチも交じってお土産には十分とったところだ。
終了間際、左トモの尾崎一信さんがサプライズが起こった。ハリ掛かりしたアジをウバ食いしたヒラメが上がったのだ。最高のゲストを手にした本人は大喜び、いい記念になったようだ。
東京湾のライトアジはこれからがベストシーズン。今度の大型連休に家族や仲間を連れて楽しんでみてはいかがだろうか。